

編集後記

IFグループの編集委員という仕事を任されてもうすぐ2年の任期が終わろうとしています。就任の話をいただいたとき、年會にも数えるほどしか参加したことがない不真面目な自分でもいいのかと考えましたが、他研究分野の話は勉強になり、委員の方々や事務局の北澤さんに多くのサポートをいただき、なんとかこなしてきました。これまで学会誌がどうやって作られるのかを具体的に考えたことがありませんでしたが、毎月、記事・雑誌を作り上げる作業は勉強になりました。

新型コロナウイルス感染が広がったことで昨年より生活が大きく変わりました。ちょうどこの原稿を書いている週末は、プロ野球でも感染者が出たことで、いつも楽しみにしているタイガース戦が中止となって寂しい思いをしています。国内外の学会や会議も中止や延期、またはオンライン開催となり、オンラインだと大学に居ながら片手間で参加できてしまうことが便利でもあります。残念に思うことも多くあります。私は2019年の秋に中国で会議に参加した後は海外渡航しておらず、最近、パスポートの期限が切れていることに気づきました。一度パスポートの有効期限が切れると面倒で、戸籍を取り寄せて再度手続きが必要となるので皆さんもお気をつけください。国内外での会議は、研究活動の発表や情報収集に重要なものもちろんですが、普段行かない土地に行ったり、飲み会などで普段会うことが少ない研究者同士で交流できることも楽しみの一つでしたが、しばらくは実現しそうにありません。

新しい様式での研究、教育を模索しながら、これまでの日常を早く取り戻したいと願っています。(森田太智)

青森県の六ヶ所村に居を移し、もうすぐ10年になります。博士研究員としての採用時は茨城県東海村でしたが、採用時に六ヶ所村への異動の可能性が高いことは聞いていたため、いざ異動となった際には「とうとう来たか」と言った心境と「ようやく来たか」と言った心境が入り混じる複雑な心境であったことを今でも覚えています。そして六ヶ所に異動した直後から冬支度を初め、いざ冬に突入したらその年は豪雪の当たり年だったようで、毎日のように視界数メートルの地吹雪の中出勤し、わずか100メートル程度の構内の徒歩での移動で遭難(笑)しそうになり、「すごいところに来たものだ」と思ったものでした。その年以降はそのような豪雪となることもなく、1シーズンでも数えるくらいの地吹雪に遭う程度となり、最初の凄まじい冬の印象のみが残る形となっています。

さて、私は学生時代から温泉が好きで様々な温泉に行っておりましたが、青森県は人知れず(失礼)温泉天国でした。かけ流しでない温泉を探す方が難しく、循環湯の方がかけ流しよりも入湯料金が安いことが多いといった、逆転現象が起きていることも新鮮でした。昨今のコロナ禍の中、なかなか温泉に行く機会も減りましたが、現状が改善され、また温泉巡りに行ける日々を心待ちにしつつ毎日を過ごしております。

最後になりましたが、この二年間、編集委員を、特に後半一年間は副主査を務めさせていただいておりましたが、おそらく近年まれにみる不出来な副主査であったと思われ、編集委員会事務局をはじめ、各種幹事の方々にも多大な迷惑をおかけしてきたと思いますので、ここに謝罪の意を示すとともに、編集委員および関係者に感謝の意を示し、締め言葉とさせていただきます。(小柳津誠)

プラズマ・核融合学会 役員

会 長：森 雅博
副 会 長：安藤 晃 (推薦委員長：研究助成、男女共同参画委員長) 竹入康彦 (推薦委員長：学会賞、研究部会連絡会委員長)
常務理事：下妻 隆 (総務委員長)
理 事：荒巻光利 (編集委員長) 出射 浩 大勢持光一 大野哲靖
金子俊郎 木戸修一 (財務委員長) 小西哲之 齊藤輝雄
篠原孝司 (広報委員長) 神野雅文 中井光男 (年会運営委員長、企画委員長)
渡邊隆行 (企業展示検討委員長、支部・地区研究連絡委員長) 横峯健彦 和田 元
監 事：中村圭二、前田達志

プラズマ・核融合学会 領域長

基礎 荒巻光利 応用 渡邊隆行 核融合プラズマ 大野哲靖 プラズマ炉工学 小西哲之

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：荒巻光利(日大) 副委員長：出射 浩(九大)
エディタ：古閑一憲(九大)、比村治彦(京都工繊大)、波多野雄治(富山大)、城崎知至(広島大)、藤田隆明(名大)、村上定義(京大)
編集委員：池添竜也(九大)、今寺賢志(京大)、岩田夏弥(阪大)、上野一磨(中京大)、大谷芳明(量研)、小川大輔(中部大)、
呉 準席(大阪市大)、小柳津 誠(量研)、加藤雄人(東北大)、河村学思(核融合研)、小林 真(核融合研)、小林政弘(核融合研)、
近藤康太郎(量研)、齋藤誠紀(山形大)、齋藤晴彦(東大)、柴田崇統(高エネ研)、清水鉄司(産総研)、
竹田圭吾(名城大)、田中宏彦(名大)、中村浩隆(阪大)、水口直紀(核融合研)、向井啓祐(京大)、本村大成(産総研)、
森田太智(九大)、森高外征雄(核融合研)、山田大将(長野高専)、安原 亮(核融合研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第97巻第6号

編集・発行
〒464-0075 名古屋千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2021年(令和3年)6月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspfor.jp URL: http://www.jspfor.jp/ 定価1,430円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。